



値に比べて、1895 床上回った状態ということだった。内訳としては、高度急性期と回復期でそれぞれ 308、587 の不足。一方で急性期は大幅に 2310 床の余剰となっていた。県のホームページで、令和 4 年 9 月 29 日の更新という公表資料があり拝見した。これは今後の各病院、診療所の病床数の変化と令和 7 年時点で予定している数値ということだった。それによると、資料 4-1 の令和 3 年度の現状に比べて、必要病床数との差異はかなり縮小する見込みということだった。令和 3 年度時点で 1895 床の超過と見込んでいたところ、ホームページの公表資料では、1388 床の超過まで縮小するという。ただし、高度急性期と回復期が不足して、急性期は大きく上回る見込みについては変わっていないようだった。高度急性期については、村山地域の医療機関が三次医療機関の役割を担うという構図は今後も変わらないと思うが、必要病床数を満たしていないという状況で県民にとって大きな不安要素であろうと思う。ホームページで拝見した、令和 7 年度予定病床数は、あくまで各医療機関の現状での自主的な選択による数値という説明だったが、今後の需要に見合う医療提供体制を確保できるよう、県で積極的に議論をリードしていただきたいと思う。

#### →（事務局）

県民にとって必要な医療を確保するというのが大前提であり、高度急性期の医療などについては引き続き確保をするために努力していかなければならないと考えている。一方で、人口の減少・高齢化の進行によって、疾病構造が変わってきており、高齢者向けの病床機能に転換していかなければならないというのが、一番の眼目と考えており、それについては取り組んでいきたい。引き続きご意見を伺いながら進めて参りたい。

- ・ 平成 28 年 9 月にまとまった山形県地域医療構想資料を見ると、最上地域は、入院外来ともに、他の地域に比べて自己完結率が低い。また、2025 年推計の患者の受療の動向は、村山地域への患者の移動流出が大きく見込まれている。機能別の病床の充足見込みについても、高度急性期と回復期の病床が不足し、急性期が超過となっている。県立新庄病院の改築計画は、医療の解決に向けたものとして地域の期待が非常に高い。医師、看護師、病院薬剤師といった専門家の確保のため、県でも様々な方策がとられているということだが、当病院が地域の基幹病院としての役割を十分果たせるように、周辺の医療機関との連携なども含めて、一層の人材確保の取り組みを期待する。
- ・ 資料の 4-6 の県立河北病院と寒河江市立病院の統合に関して、どちらかをサテライトで残すのではなく、一つの病院にすることか。また、河北町や寒河江市など地元自治体の反応はどんな状況か。

#### →（事務局）

県としては、県立河北病院と寒河江市立病院の統合を軸に、今後検討を進めるという形にしている。一方で、両病院の周辺には朝日町立病院、西川町立病院といった公立病院もあるので、そういったところも含めた連携は、ワーキンググループ等の議論を踏まえながら検討していく。

地元の反応については、検討会の中でも、それぞれの首長様から地域の立場に立ってご意見を頂戴している。寒河江市立病院を設置している寒河江市長か

らは、もともと県立河北病院と統合すべきというご提案をいただいております、積極的に推進すべきという意見だった。また河北町長は、基本的には現行の県立河北病院の維持を基本に考えるべきということで、統合については賛成というご意見をいただけなかった状況である。

- ・ 資料の4―8の国の資料の表現を見て違和感を感じたので共有したい。2040年問題は団塊ジュニアが、高齢者に入っていく時を想定してるが、本県は団塊ジュニアが人口ピラミッドで全然増えていない。さらに、置賜で言うと、西置賜は全く膨らみがないぐらい、その人口規模が小さい。全国的にも、2025年ですら高齢者の伸びが少ないと言われてる山形県なので、この文面の通りに考えては良くないのかと思った。すでに西置賜の高齢者人口はピークを迎えて減少しており、地域ごとにそれぞれ違うということをもう少し念頭に置けるようなことを関係者にお伝えできたらいいかと思った。あわせて、病院の再編の中で、病院を有床診療所化されている情報が欲しい。

→（事務局）

地域の状況を踏まえた計画策定について、機会を捉えて話をしていきたいと考えている。

- (4) 地域医療介護総合確保基金に係る令和4年度事業概要及び令和3年度実施事業の事後評価について《資料5―1～4》

○ いただいた主な御意見等

特になし

- (5) 第8次山形県保健医療計画の策定に向けて《資料6―1～6》

○ いただいた主な御意見等

- ・ 今現在、国が進めているDXについて、マイナンバーカードを使ってのオンライン資格確認や情報共有等で、医療の連携のあり方が少し変わり、患者情報の共有という部分が増えてくるかと思った。県の医療計画にも、医療情報の共有について盛り込んでいくほうがよいかと思う。

→（事務局）

ご意見も参考に、今後の動き等も注視しながら必要に応じて反映させていきたい。